広がれ健康家族㊼…保健センター ☎373・4300

歯の健康はしつけから

～親子一緒にむし歯予防～

●進行が早い乳児のむし歯

乳歯は永久歯に比べてエナメル質が薄く、柔らかいという特徴があります。このためむし歯の進行が早く、わずか五～六カ月で神経まで達することもあります。

●食べたら磨く習慣を

子供が自分で歯を上手に磨けるようになるまでは、お母さんがいつも見てあげることが大切です。歯磨きを始めるのは、何でも口に入れたがる六カ月児ころからが良いでしょう。このころから歯ブラシを与えて慣れさせておくと、一～二歳からの習慣付けがうまくいきます。

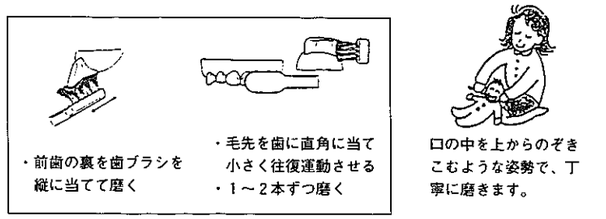
前歯が生えたら、ひざに寝かせて磨いてあげてください。嫌がるときはまねごとでも良いのです。この時期は歯磨きの習慣付けが大事ですから、まずは一日一回、丁寧に磨くことを目標にします。むし歯は寝ている間になりやすいもの。寝る前の歯磨きは毎日の習慣にしたいですね。

●歯磨きタイムは楽しく元気に

歯が生えそろったら、自分で磨く練習をさせます。子供の好きな音楽をかけたり、お母さんが一緒に磨いたりして、やる気が出るようにリードしてあげましょう。あまり手出しをしないで、「自分で磨く」という気持ちを大切にしてあげてください。でも上手に磨くことはできません。必ずお母さんが仕上げ磨きをするようにしましょう。最近の調査では、未就学児を持つお母さんの約八割が仕上げ磨きをしています。皆さんはいかがですか。また子供に正しい歯磨きを指導するとともに、自分の習慣も見直してみましょう。

3歳　2歳　1歳　0歳

お母さんが寝かせ磨きをする



6歳　5歳　4歳

子供が自分で磨いた後で、お母さんが仕上げ磨きをする

市政豆知識④

議会のあらまし

四月に行われた市議会議員選挙で、新しい市民の代表が決定。五月十六日には、改選後初めての議会が開かれました。そこで、今回は議会のあらましをご紹介します。

議会には定例会と臨時会があります。定例会は年四回、おおむね三月、六月、九月、十二月に開かれることになっています。一方、臨時会は、市長が必要に応じて招集するものと、議員定数の四分の一以上の議員から請求があったときに、市長が招集するものとがあります。

議会に提案される議案には市長が提案する条例や予算などのほか、市民からの請願、議員から提案される意見書、決議などがあります。本会議では、提案理由の説明、それに対する質疑・応答が行われ、本会議の下審査機関である委員会に付託されます。委員会では、議案をそれぞれの分野や部門ごとに、細かい部分まで実質的に審査を行います。議案によっては、委員会付託を省略する場合もあります。

委員会には、議会運営委員会と常任委員会、特別委員会の三種類があります。本市には、総務文教、社会建設、産業企業の三つの常任委員会があり、議員はそれぞれ常任委員会のどれかの委員にならなければならないことになっています。どの委員会に属するのかは一般選挙後、初めて招集される議会で決めることになっています。委員会では、参考人を呼んで意見を聴いたり、公聴会を開いたりすることもできます。それぞれの議案ごとに委員会としての態度を決め、その審査の結果を本会議で報告する役割があります。

委員会で審査された議案は、再び本会議で採決され意思決定されます。原則として、議員定数の半数以上の議員の出席が必要とされ、出席議員の過半数の賛成で議決されます。市長や教育委員会などの執行機関は、これら議会の議決に従って市政を進めていきます。

執行機関である市長と議決機関である議会は、いわば車の両輪のようなもの。お互い均衡を保ちながらけん制しあったり、協力しあったりして市政発展のために活躍しています。

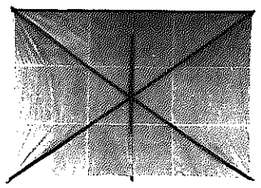
議案が議決されるまで

議案 → 本会議（委員会付託 → 質疑・応答 → 提案説明） → 委員会（採決 → 委員会審査） → 本会議（採決 → 委員長報告 → 質疑・応答 → 討論）

凧博士

田原凧

（愛知県）



写真は凧の裏側です

田原町は渥美半島にあって、江戸後期の洋学者で南画家でもあった渡辺華山を生みました。田原凧は珍しい横長の角凧です。凧揚げの腕が上達すると、上下左右自在に操縦ができるようになります。鼻緒は中央の縦骨に二本、うなりが取り付けられてブーンと唸りながらアクロバティックなパフォーマンスを演じます。

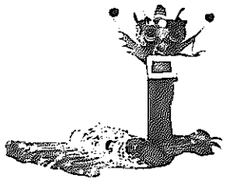
毎年五月下旬に、ガラス粉を塗り付けた麻製の揚げ糸で切り合う凧合戦が行われます。凧の妙技を競うだけに熱中したせいなのか、凧に絵は描かれません。数字か漢字の一字を書くというシンプルさです。また、田原に凧屋はありません。シーズンが近づくと、白根のように市井のにわか凧師が、胸を踊らせながら自慢の凧を作り上げるのです。

国内の凧揚げ大会では、数十メートル先の凧船を割ったり、糸切り合戦などけんか凧として人気を集めています。

あなたも

竜頭百是凧

（中国）



中国で創り出された名高い速凧です。日本でも昭和五十年代に流行しました。私も一時ムカデ凧作りに熱中して、十本ほど作りました。円盤を三本の鼻緒で連結しますが、それぞれの長さが正確にそろわないと、真っすぐに揚がってくれません。直径が三十センチほどの円盤のものを作りますと、弱風でもよく揚がる、性能の優れた凧です。

大凧と歴史の館で所蔵展示しているムカデ凧は、竜頭ムカデと呼ばれるもので、中国ならではの精巧な細い竹骨の細工で竜頭が作られています。五十枚の円盤に描かれる絵も、一枚一枚異なるという念の入った見事な作品です。

中国の凧揚げ大会で、百枚ほど連結したムカデ凧、三本をY字形に結んで揚げているのには驚きました。ベトナムにもムカデ凧がありました。凧にも中国の影響を見ることができて、興味深いものがありました。

文・田村和雄（しろね大凧と歴史の館運営委員会委員長）